

## 第7回 かほく市行政改革推進委員会 会議録（要旨）

日 時	平成26年11月19日（水） 13時30分～14時20分
場 所	かほく市役所 西フロア3階 302会議室
出席委員	櫻井委員、今村委員、金谷委員、中谷委員、坂野委員、森（和）委員、 小山委員、中嶋委員、架谷委員
事務局	総務課【虎谷課長、小村課長補佐、澤野係長、網江主査】
議 題 等	1. 会長あいさつ 2. 議題 (1)第3次かほく市行政改革実施計画 実施内容調書（案）について （実施項目 No.58～No.66） (2)第3次かほく市行政改革大綱（案）について
会議資料	第3次かほく市行政改革実施計画 実施内容調書（案） 第3次かほく市行政改革実施計画 実施内容調書付属資料 （実施項目 No.58～No.66） 第3次かほく市行政改革大綱（案）

### 1. 会長あいさつ（櫻井会長）

### 2. 議題

- (1) 第3次かほく市行政改革実施計画 実施内容調書（案）について（事務局）  
    （実施項目 No.58～No.66）

※資料に基づき説明

- 【実施項目No.58 市営バス事業特別会計の健全化の推進】
- 【実施項目No.59 墓地特別会計の健全化の推進】
- 【実施項目No.60 ケーブルテレビ事業特別会計の健全化の推進】
- 【実施項目No.61 国民健康保険特別会計の健全化の推進】
- 【実施項目No.62 後期高齢者医療特別会計の健全化計画の策定】
- 【実施項目No.63 介護保険特別会計の健全化の推進】
- 【実施項目No.64 大海財産区特別会計の健全化計画の策定】
- 【実施項目No.65 水道事業会計の健全化の推進】
- 【実施項目No.66 下水道事業会計の健全化の推進】

（委員）

- ・ケーブルテレビ、市営バス、上下水道施設など、これまで設備投資をして施設を維持管理されていると思うが、今後、新たに設備を更新していく必要がある。一般の会社であれば、設備を持てば減価償却というような形でそれぞれ費用が蓄えられていくような会計を取っているが、市では、どのような会計の方法をとっているのか。

(事務局)

- それぞれの会計には基金というものがあり、設備などを更新するために、使用料などの収入から一定の資金を積み立てている。収入の状況によっては、一般会計から持ち出すということもあるが、基本的には更新時期までに資金の積み立てをしている。会計の運営の状況によって利用料金を決定する必要はあるが、単に設備の更新をする必要があるからということで、利用料金を値上げするのではなく、市民サービス面とのバランスを考慮に入れて決定しているところである。

(委員)

- 特別会計については、民間委託ということ視野に入れて、民間に任せれるところは任せていくという方向で持っていければ良いのではないかと考えるが、そのような方向性についてお尋ねしたい。

(事務局)

- 委員ご指摘のとおり、民間に委託できるものは委託していく必要があり、実際に、民間委託を推進して実施をしている。一例を申し上げますと、下水道施設の維持管理を包括的に民間委託しており、昨年度から水道事業においても拡大して民間委託を導入している。また、公共料金の徴収事務についても民間委託を導入できないかどうか常日頃から協議しているところである。社会情勢や県内自治体等の動向をしっかりと捉えながら民間委託を推進して参りたい。

(委員)

- 介護保険制度や後期高齢者医療制度についても特別会計の一つであるが、高齢者の増加により、いずれはその負担が大きくなることが予想される。保険制度の運営協議会の中での医師会の皆さんのお話しによると、患者の診断結果のデータに基づき、適切な薬を選んでいることから、医療費の削減ということで、一概に全てをジェネリック医薬品に切り替えることは難しいとのことであった。

(2) 第3次かほく市行政改革大綱(案)について(事務局)

※資料に基づき説明

- 特に意見なし

3. その他

- 次回の委員会について

平成26年12月17日(水)13:30から開催することとした。

以上